

— 修 学 院 離 宮 —

りんうんてい 上離宮の隣雲亭



隣雲亭からの眺め



一二三石



洗詩台

深い軒下のたたきには、京都の賀茂川の黒石や鞍馬山の赤石を一個、二個組、三個組と規則的に配置して埋め込んであります。俗に
ひふみ
一二三石と呼ばれています。



上離宮の御成門を入り、目線を遮る大刈り込みの急な石段を登りつめる

と、隣雲亭という建物が待ち受けてい

ます。眼下には浴龍池や棚田を見おろし、遠くには洛北の山々や京都市内が眺望できます。

隣雲亭は標高約150メートルにある
こけらぶ
柿葺きの建物で、現在の建物は文政7年(1824)に再建されたものです。内部には床の間も棚もなく、目立った飾りは何ひとつない六畳の一の間と三畳の二の間があります。その北側には三

方吹き放しの洗詩台と呼ばれる四畳分の板の間があり、木立の奥を流れ
おたき
落ちる落差6メートルある雄滝の水音が心地よく響きます。建物背後には、六畳2部屋と八畳1部屋があり、これらは子供の者の控えの間として使用されていたところです。

— 修 学 院 離 宮 —

おおかりこみ
大刈込



よくりゆうち

修学院離宮の上離宮には浴龍池という名前の大きな池があります。谷を人工の堤防でせき止めて作った池ですが、その堤防は大刈込と、生垣によって覆われています。大刈込とは、多数の樹木を混植して、大きなひとつの形になるように刈り込んだものです。修学院離宮では浴龍池の堤の最上部からなだらかに下がってくる部分(写真①)と隣雲亭に上がる石段の両側を覆っている植え込み(写真③)で使われ、約40種類の樹木を混植しています。

大刈込を刈り込むときは、打ち鎌(うちがま)と呼ぶ特殊な刃物(写真②)を使います。打ち鎌は約1mの柄に15cm程度のナイフのような刃物が付いた道具で、職人がそれぞれ使いやすいように工夫しているので、各自の道具は微妙に形状が異なります。この道具を使ってなぎ払うようにして豪快に刈り込む様子は修学院離宮ならではの光景です。

刈り込み作業の時期 1回目 7月下旬～ 8月上旬

2回目 10月下旬～11月上旬

※ 新芽の伸長状況により、多少前後する場合があります。



写真①



写真②



写真③



おなりもん
上離宮の御成門



下離宮から、棚田を横目に松並木を登っていくと目の前に広場があらわれ、正面の木立の下に上離宮の表門にあたる
おなりもん
御成門が待ち受けます。こけらぶ
柿葺きの屋根、扉付きの木の門で欄間には花菱模様の透かし彫りが施してあります。平成23年

こけらぶき
度には柿葺屋根の葺替えや、御成門の両側に控える木賊塀の竹を張り替えました。とくさべい



上離宮 御成門欄間の花菱模様の透かし彫



下離宮 御幸門扉の花菱模様の透かし彫り

上離宮の御成門
欄間や下離宮の
みゆきもん
御幸門扉など花菱
模様の透かし彫りが
施されていますが、
この他にも修学院離
宮には、菱形を使っ
た模様が多数使用
されています。

<問い合わせ先>

〒602-8611 京都市上京区京都御苑 3
宮内庁京都事務所 代表電話：075-211-1211
参観係直通電話：075-211-1215

其の二：平成24年10月24日発行

次回の発行は平成25年1月頃を予定しています。

修学院離宮案内図



下離宮

- ① 御輿寄
- ② 寿月観

中離宮

- ③ 楽只軒
- ④ 客殿
- ⑤ 松並木

上離宮

- ⑥ 大刈込
- ⑦ 隣雲亭
- ⑧ 万松塙
- ⑨ 千歳橋
- ⑩ 楓橋
- ⑪ 窮邃亭
- ⑫ 土橋
- ⑬ 御舟着
- ⑭ 西浜

観マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、<http://sankan.kunaicho.go.jp/> をご覧ください。

通マークは、申込不要の京都御所通年公開でご覧になれます。

詳細は、<http://www.kunaicho.go.jp/info/kyototsunen-sks-sankan.html> をご覧ください。

これまでの「《京都》御所と離宮の葉」については、宮内庁ホームページの[こちら](#)からご覧ください。

<問い合わせ先>

〒602-8611 京都市上京区京都御苑3 宮内庁京都事務所
代表電話：075-211-1211 参観係直通電話：075-211-1215